

# 文化

## 美術

10-12月

久米 淳之

### 季評

横浜トリエンナーレ第三回展(昨年九月-十一月)は、「タイムクレヴアス(時の裂け目)」をテーマに掲げたが、「アートサーカス」として祝祭的な雰囲気が強かった前回二〇〇五年に比べて、いたって静かでクールな印象を受けた。パフォーマンスなど時間設定された作品も多く、それが終了した会期後半、「祭りの後」のような空気が漂ったことは否定できないだろう。

こうした国際展出品とは別に、一定期間、現地に滞在し、制作がサポートされるアーティスト・イン・レジデンス(AIR)によって、海外から訪れるアーティストは昨今多い。道内では、サツポロ・アーティスト・イン・レジデンス(SAIR)が、九年にわたりさまざまなアーティストを受け入れ、近年は海外への派遣も手がけている。

「Drawing Ezo」(二月五日-十八日、札幌市中央区・ネペンテスギャラリー)は、SAIRの招きで札幌に二月滞在中の北アイルランドのジェマ・アンダーソンが、動物園の飼育員と彼らにまつわるモチーフを、取材したその場で銅版や紙に描いた細密で幻想的な肖像画。制作のスピードと精緻なタッチの

### 「Drawing Ezo」取材したその場で肖像画

アンビバレントな関係が、いっそう静謐で品のある展示空間を創出し、小品ながら完成度の高い作品群に、あらためて表現者のエネルギーと場の問題を考えさせられた。国際展参加と、滞在制作とは目的を異にするが、国際展においても開催地での制作例は少なくない。近ごろ国際展のあり方に対する評は盛んだが、作家が制作に臨む場



動物園の飼育員を描いたジェマ・アンダーソンの「Oranutan Keeper」(ハレバランシャシ撮影)

### 「SAG INTRODUCTION」展 国籍超え9人が思考

もいて、モチベーションを高揚させようとするアーティストにとって迷惑な例もある。国際的ということだけでは、必ずしも作品の質は証明されるものではないのだ。SAIRには、二〇〇八年度国際交流基金地球市民賞が贈られた。アーティストを共通のゴールを目指す仲間として受け入れ、制作を支援してきた彼らの成果だ。制作する場の問題を考えると、地域を基盤とする活動がふたたび貴重に映る。札幌アーティストギャラリー(SAG)は、ローカルな独自性とグローバルな視点を意味する造語「グローカル」を掲げて美術を札幌から世界へ発信しようとするグループ。「SAG INTRODUCTION」展(十二月二十日-二十九日 茶廊

法邑、品品法邑)ともに同市東区)では、大井敏恭、笠見康大、川上りえ、小林麻美、林亨、山本雄基、レスリー・タナヒル(米・サンフランシスコ)、ホワン・オウチュル(韓国)、リュウ・イルシオン(同)の国籍を超えた九名の、制作にむかう真摯な思考と試みが、展覧会の品格を象っている。特に林、小林、笠見、山本らの絵画空間は、自己の内面に深く向き合った過程と結果が共感を呼び、新鮮な感覚に包まれる作品群だった。それはユニケーションの重要な手法として絵画の可能性を示しているように思う。表現者という人間個々の場から、世界の場へ、

「海霧」主演・榎山文枝さん



# 青報ら

## ツアー

### ●JTB

(☎241・6201)

世界遺産 石見銀山と日本一山陰の旅4日間  
-の大砂丘「鳥取砂丘」、大きいしめ縄の「出雲大境世界遺産「石見銀山」、日でも有名な「足立美術館」を宿泊はゆったり温泉で。夕3食付き。添乗員同行。札幌発着。出発日は3月4、5、4月3、13、15、21、5月11、17、19、24日、6月3、13日。代金は大人1人0円-12万8800円(2人1

### ＜NTツリスト

(☎221・5489)

らんまん ほっかほかの沖舟  
つばいの季節にめぐる期間ツアー。1日目は海洋博公歩5分のチサンリゾートう海に宿泊。2日目は八重つり(2月14日出発まで)つつじ祭り(3月7-21日)など、出発日に応じて花のうを訪問。期間中は日本一の祭典「沖縄花のカーニバル」が開催されており、訪れもごとく美しい花を満喫で2朝1昼2夕食付き。新千発着。沖縄到着後、沖縄出添乗員同行。出発日は2月11-15、20-24、26、28日、7-10、12-14、17、24-31日、4月1-6日、16、17、19、20日。代金1人6万1800円-9万1800円(1室)

### ●JR北海道

(☎219・5489)

んなで一室大部屋  
-ブやファミリーにお得な1室5-13人まで対応しをを用意し、道内26施設かで宿泊できる。ホテルは「層易亭」や「登別石水亭」、家木亭(函館)など。往Rと宿泊がセットになったと、宿泊だけのプランがあ

第四十三

劇賞の贈

日、東京都

個人賞に選

芸公演「海

